



第35回日本臨床工学会  
ランチョンセミナー6 (LS6)

Vantive

# クリティカル ケア領域における 血液浄化を 上手に活かす 知識とテクニック

2025年 **5月17日** **土**

12:25-13:25

**第11会場**

グランキューブ大阪 (大阪国際会議場) 会議室1004 / 1005

座長

**濱田 悠佑**先生

聖マリアンナ医科大学病院 臨床工学技術部

演者

**森山 和広**先生 藤田医科大学 医学部 麻酔・集中治療医学講座 客員准教授  
敗血症に対して持続血液濾過を施行する理由

**平野 玲二**先生 住友病院 診療技術部 副部長兼 臨床工学科 科長  
Prismaflexを上手に使う



ホームページ

<https://www.ace-enterprise.jp/jace2025/>

セミナーは事前登録制で、参加登録と同時に事前登録が開始となります。当日、参加証発行時に整理券の出力を予定しています。

共催：第35回日本臨床工学会 / 株式会社ヴァンティブ

問い合わせ先：株式会社ヴァンティブ 〒108-0023 東京都港区芝浦3-4-1 グランパークタワー 30階 TEL:03-4595-4750

JP-AT1-250023 V1.0 04/2025

# クリティカルケア領域における 血液浄化を上手に活かす 知識とテクニック

## 敗血症に対して持続血液濾過を施行する理由

演  
者

森山 和広先生

藤田医科大学 医学部 麻酔・集中治療医学講座 客員准教授

敗血症に急性腎障害が合併すると死亡率は高くなる。そのため敗血症では血中サイトカイン濃度を低下させ近位尿細管障害や血管内皮細胞障害を軽減させる対策が必要である。一方、敗血症の初期輸液時の体液過剰は死亡のリスクとなる。最近では輸液開始時から、利尿薬や機械的除水が考慮される。このように、敗血症に対する持続血液濾過はcytokine除去と同時に体液管理が目的であり、腎機能に関係なく施行されるべきである。

## Prismaflexを上手に使おう

演  
者

平野 玲二先生

住友病院 診療技術部 副部長兼 臨床工学科 科長

持続的腎代替療法(CKRT)では回路内凝固に伴い余儀なく治療中断となることがある。各施設で抗凝固薬の投与量や投与部位、フィルター選定、回路交換タイミングなど様々な対策を講じている。しかし、一部の症例では回路内凝固により回路内失血となるケースも生じる。本セミナーでは、この凝固対策として、回路内凝固が少ないとされるヴァンティブ社製Prismaflexの導入前後の取り組みと機器の特性を活かした当院の運用について紹介する。また、現在進行中の透析管理システムとCKRT装置連携の取り組みにも少し触れ、臨床現場での一助になるような講演を行う。